

第八次宮崎県農業・農村振興長期計画（案）の策定について

令和3年2月15日
農政水産部

1 策定経緯

- 平成31年4月～：第七次宮崎県農業・農村振興長期計画の成果と課題を検証
 令和元年8月：第八次宮崎県農業・農村振興長期計画策定委員会設置
 ：令和元年度第1回農政審議会（基本的な方針の審議、計画策定諮問）
 9月：県議会環境農林水産常任委員会（基本的な方針の報告）
 10月：長期ビジョン策定チーム設置
 令和2年2月：令和元年度第2回農政審議会（長期ビジョン（案）の審議）
 6月：県議会環境農林水産常任委員会（長期ビジョン（案）の報告）
 10月：令和2年度第1回農政審議会（計画素案の審議）
 12月：県議会環境農林水産常任委員会（計画素案の報告）
 12～1月：パブリックコメント、関係機関・団体への意見照会
 令和3年2月：令和2年度第2回農政審議会（計画案の審議）
 3月：県議会環境農林水産常任委員会（計画案の審議）

○農政審議会や県議会に加え、農業者、農業法人、市町村、JAグループなど関係団体と、延べ50回（700名以上）意見交換を実施。

2 パブリックコメント等の概要

計画素案に対するパブリックコメントと関係機関・団体（市町村・農業関係団体等）への意見照会を、令和2年12月7日から令和3年1月6日まで実施。

御意見をいただいた人数・組織数と件数は以下のとおり（意見詳細は資料2参照）。

	人数・組織数	件数
パブリックコメント	7名	21件
関係機関・団体	3組織	48件
合計		69件

3 農政審議会やパブリックコメント等での御意見への対応

令和2年10月20日の農政審議会やパブリックコメント等での御意見に加えて、情勢の変化（高病原性鳥インフルエンザ、2020年農林業センサス、国の計画等）に対する計画案での対応は、以下のとおりとしました。

原案ページ	農政審議会やパブリックコメント等での御意見 情勢の変化等	計画案での対応
9～14	【情勢の変化】 2020年農林業センサスや、国の統計資料の公表	表・グラフを、最新のセンサス・統計に、更新しました。
24	【情勢の変化】 高病原性鳥インフルエンザの発生	令和2年12月以降の高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、防疫措置等の内容を追加しました。
27	【情勢の変化】 農林水産業・地域の活力創造プランの改定	令和2年12月の改定を踏まえ、内容を追加・修正しました。
31	【パブリックコメント】 「みやざき型家族農業」について、位置づけはありがたい。共感できる。 みやざき型の説明が難しく位置づけ不要	農政審議会での「家族農業」についての提言や、パブリックコメントでの賛成意見も踏まえ、素案のとおりとします。 また、本計画における家族農業の定義を明確にするため、素案のとおり「みやざき型家族農業」として位置づけることとします。
31	【農政審議会】 みやざき型家族農業の「みやざき型」は不要ではないか。	御意見を踏まえ、スマート化を「賢く稼げる農業」と定義し、農業者の経営ステージに応じた生産性向上に加えて、生産・流通・販売での連鎖的な施策展開を記載しました。
34	【農政審議会】 「スマート化」は手段の一つで、宮崎農業の全てを集約できる言葉なのか。	将来展望を再計算した結果、農業生産人口・経営耕地面積の展望を微修正しました。
53～56	【情勢の変化】 2020年農林業センサスの公表	生産量の増加と単価向上によって農業産出額の目標達成を目指してまいります。 また、御意見を踏まえ、農業産出額増加を目指す取組の概要を当ページに追加しました。
58	【パブリックコメント】 「農業産出額」の目標について、経営体や農業生産人口、経営耕地面積が減る中で増加は難しいのではないかと。どのように伸ばすのか。	御意見を踏まえ、P64「多様な研修によるプレーヤー育成」の5年後の目標に、認定農業者数を追加しました。
63	【パブリックコメント】 「新規就農・参入支援によるプレーヤー確保」の目標は、農業法人数ではなく、認定農業者がいいのではないかと。	農業しやすい環境づくりは重要な視点であり、P69「多様な雇用人材の確保・調整」に記載のとおり、ライフスタイルに合わせた勤務体系の導入や宿舍・トイレなど受入環境の整備等により、働きやすい環境づくりに取り組んでまいります。
65	【パブリックコメント】 「女性農業者や青年農業者が活躍できる環境づくり」では研修を受けやすい環境づくりに加え、働きやすい環境づくりも進めてほしい。	御意見を踏まえ、P66に「高齢農業者が生きがいを持って元気に活躍できる環境づくり」の基本計画を追加しました。
66	【農政審議会】 生きがいを感じて農業をしている高齢者は多いので、一言でも触れてほしい。	

原案 ページ	農政審議会やパブリックコメント等での御意見 情勢の変化等	計画案での対応
70	【パブリックコメント】 「アグリフードチェーン司令塔体制」の体制・役割・フローが分かりづらい。	アグリフードチェーン司令塔体制の仕組みは、本計画の中でも非常に重要な点ですので、今後関係機関・団体と十分議論しながら検討してまいります。
71	【パブリックコメント】 スマート農業は、後継者のいない高齢者にはメリットが少ない。	御意見を踏まえ、P71「スマート農業の普及・高度化」に、高齢農業者もスマート農業を活用できる「共同利用やシェアリング」の文章を追加しました。
72	【パブリックコメント】 水路が老朽化し、メンテナンスが難しくなっている。	P82に記載の日本型直接支払制度や、P84に記載の計画的な更新整備と維持管理体制の強化等により、持続可能な生産基盤の確立を進めてまいります。
74	【農政審議会】 野菜の価格が1年間安定するとよい。	P74に記載のとおり、周年供給体制の確立などに取り組み、価格の安定につなげてまいります。
76	【パブリックコメント】 「生産基盤を支える試験研究の強化」のタイトルは、「産地革新を進める」のような表現がいいのではないかと。	御意見を踏まえ、タイトルを「産地革新を進める試験研究・普及の強化」に修正するとともに、農業改良普及センターと試験場の更なる連携や、地域コーディネート機能強化の内容を追加しました。
80	【農政審議会】 物流の基盤をしっかりと整えてほしい。	P80に記載のとおり、持続可能で効率的な物流体制への変革を進めてまいります。
84	【農政審議会】 農業用ダムの洪水調節機能を記述すべき。	御意見を踏まえ、P84に「農業用ダム等の洪水調節機能の強化」を追加しました。
89	【農政審議会】 食育や食育ティーチャーの記述がない。県産県消を打ち出してはどうか。	御意見を踏まえ、P89に「食育ティーチャー等による食育活動」と「県産県消」を追加しました。
89	【パブリックコメント】 「食料・農業・農村に対する県民の理解醸成」について、ホームページやSNSで県民の理解が醸成されるのか。	ホームページ等による情報発信・集約は理解醸成に向けた有効な手段の一つとして記載しており、全ての基本計画の施策でも理解醸成を図ってまいります。
91	【パブリックコメント】 「施設野菜」の目標は、きゅうり・ピーマン別々の設定にしたほうが良い。	御意見を踏まえ、5年後の目標は、きゅうり・ピーマンの反収を別々に設定しました。
127	【パブリックコメント】 「西臼杵地域」のタイトル「伝統に新たな人技を吹き込んで、輝き続ける棚田地域」は、将来像がイメージしづらい。	御意見を踏まえ、タイトルを「伝統に新たな人を呼び寄せて、先端技術で輝き続ける棚田地域」に修正しました。
全般	【農政審議会】 宮崎大学農学部的位置づけがない。	P132「役割分担」に記載のとおり、大学は、技術開発や専門的技術者育成のフロンティア集団として位置付けており、密接に連携をとってまいります。
全般	【農政審議会】 アグリプレーヤーは片仮名で分かりづらい。 【パブリックコメント】 横文字が多くわかりづらい。	御意見を踏まえ、分かりづらい用語には注釈を付けたほか、資料編に「主な用語」を整理しました。